

# 第2回ワークショップが開催されました。

第2回ワークショップでは、第1回で頂いたご意見をもとに整備イメージを作成し、住民の皆様にご確認を頂きました。また、整備をどこからはじめたら良いのか、そのための計画づくりや、整備・管理運営を誰が行ったら良いのか…という事について意見交換して頂きました。たくさんのご意見を頂き、ありがとうございました。

## 整備の優先順位

- 1  
すぐ整備したいもの
- 2  
次に整備が必要なもの
- 3  
後からの整備で良いもの

## 役割分担 ～共働～



▽10/27小渡自治区



▽10/28矢作自治区



▽10/26御蔵自治区



▽10/31下川口自治区



▽11/2大河原自治区



▽11/10笹戸自治区



▽11/21浅野自治区



## 意見交換会の 風景

# 矢作川河畔林整備事業



第2号

平成20年 元旦  
豊田市 建設部 河川課

## 共働による矢作川河畔林整備の実現に向けて、整備の優先順位・役割分担を話し合いました。

### 全体的に出た意見

高齡化・人手不足について  
新制度や他地域との  
ネットワーキング形成が必要。

河川敷の初期伐採を行っても、広範囲にわたる間伐後の竹林管理や、高齡化・人手不足問題で現状では住民主体の管理運営を行っていくことが難しい。現状の既存制度を活用出来る場所については取り組んで行きたい。それでも対応が難しい箇所については、他地区からの応援要請による河川管理ネットワークや、次世代へのやる気を育てる新しい制度・システムづくりが必要。

危険な箇所や護岸に関わる  
場所の整備について

行政主導による整備が必要。

自治区主体で整備を進めている場所では、危険な箇所や護岸に関わる場所については住民整備が難しいため、整備がストップしてしまっている箇所がある。重機が必要となる場所では行政整備でお願いしたい。

拡大した河畔林の初期伐採  
管理手法について

共働整備により徐々に  
進めていってはどうか。

広範囲にわたる竹林等による河畔林については、住民での初期伐採が難しい場所については助成制度の活用や行政との共働整備が必要。砂やゴミがたまるため全て撤去したい。一方では、全て撤去してしまうと今後の管理が難しいため撤去の程度とし、徐々に管理を進めていってはどうか。

観光について

防災・マナー改善・PR等、  
様々な用途を担うサイン・散策道に。

河川では夏場の観光客が多く、マナーやゴミ、水難事故などが課題となっている。河畔林整備を行う上では、観光地となるPRしたい場所への案内看板や、マナー改善のためのサイン、危険箇所を知らせるサイン設置などを含めた全体的な計画・整備としていきたい。単に散策や

管理のためとして散策道を配置するのではなく、観光シーズンの利活用や防災等に役立て、地元への負担を減らす工夫・対策となる散策道とする必要がある。

河川敷の利用について

地域と密着し、更なる利活用、  
管理運営体制を。

既に整備された河川敷は、観光シーズンはパークビュー等に利用されている事が多い。地域住民が集まり、子供が安心して遊べる親水空間やスポーツの場として利用が出来るが良い。土工事を伴う場合は行政整備が必要。地域住民の利用が高まれば管理運営体制が整えやすい。

急峻な護岸で整備が難しい  
場所について

道路凍結防止・川を眺められる環境に。

急峻な護岸により地元整備が難しい河川敷では、樹木が生い茂り冬場の道路凍結が問題となる。道路の安全性はもとより、川を眺めるためにも定期的に行政に間伐を行って欲しい。

地権者・河川管理者との  
交渉について

行政による関係機関への要請を。

拡大した河畔林は地権者との交渉が難しい場所も多いため、その他河川管理者との協議も含め行政にて要請を行って欲しい。

伐採した竹の利活用について

水質改善や地域活性化に役立てる。

伐採後の竹は、竹炭による水質改善や、体験工房による地域活性化に役立てたい。竹の利用について行政と共働で考えたい。

州について

防災とメンテナンスの両面から考え、  
至急対応が必要。

防災のために竹林や州を撤去したい箇所は至急対応が必要である。河川管理者に対しては、河川構造や自然環境を考慮した対応を要請する。また、拡大した州の取り扱いについては、関係機関と調整してその後のメンテナンスを考慮した整備とする必要がある。

# 第2回ワークショップにおける 各自治区の主な意見 ・整備イメージ

各自治区それぞれのワークショップにおいて、参加されたみなさまから貴重なご意見を頂きました。  
皆さんのご意見から、至急整備が必要なものなどの代表的な内容を抜粋してご紹介します。

## 水害の影響を受けやすい施設整備

【浅野自治区：島崎パブリックプラザ付近】

現況



整備後イメージ



水害で流されやすい人工池の補強・移設

## 防災のための中州撤去

【矢作・笹戸自治区：有平橋上下流】

現況

有平橋上流の中州を撤去し、川の流れを中央に通す。両岸へ広場を配置。



整備後イメージ



## 河川敷の再活性化

【矢作・笹戸自治区：百月ダム下流域】

現況



竹林間伐・伐採、既存カーン場及び広場対岸 散策道の補修・追加整備

整備後イメージ



## 川に親しむ散策道の整備

【下川口自治区：矢作川沿い】

現況



整備後イメージ



竹林整備、間伐された竹林の中を通る散策道、ベンチなどによる休憩所の整備

## 拡大した河畔林の間伐・伐採

【小渡自治区：笹戸ダム下流域】

現況



整備後イメージ



←竹林を伐採し、散策道や多目的広場を整備する。

↑冬の道路凍結防止や、倒木による荒れた河畔林を管理。

## 他観光地と連携した散策道活用

【笹戸自治区：笹戸橋上下流】

散策道の配置（渡船場跡地～笹戸橋）案内板などによる防災・観光地PR

現況



整備後イメージ



## 支流について

【御蔵自治区：阿摺川】

河畔林の間伐し、ヤマボウシを植樹。余剰地への散策道整備も検討したい。

現況



整備後イメージ



矢作川合流付近の堆積土砂を撤去し、河原で遊べる阿摺川にする。

## 旧農道を活用した散策道

【大河原自治区：矢作川沿い】

現況



整備後イメージ



河畔林の間伐し、旧農道等を活用して散策道を整備。防災面に考慮した河畔林整備としたい。

## お知らせ

第2回で皆様にお話頂いた内容から、行政では河川管理者との協議を行いながら、やれること、やれないこと、課題をクリアできればやれること…というように、整備内容の整理を行った上で、来年度からの整備箇所を選定します。また、河川管理者との河川管理条件等の協議を行い、要請事項を整理します。

第3回ワークショップでは、市の職員が参加し意見交換会を行います。皆様の積極的なご参加を、お待ちしております！

## お問い合わせ

矢作川河畔林整備事業についてのご意見、ご感想等お気軽にご連絡ください。

豊田市 建設部 河川課（計画担当：早川、花田）

でんわ：0565-34-6672

FAX：0565-33-2460